



都 裕貴 (みやこゆうき)
株式会社ワンオンワンハウジング事業本部所属。
愛犬家住宅コーディネーター専任講師。
全国で「愛犬家住宅」に関するセミナーを担当しながら、
愛犬家たちの住まいの悩み事の解決に取り組む。
自らもジャックラッセルテリアと暮らす犬好き。

く人も愛犬もストレスのない住まい方

愛犬と幸せに暮らす 住まいのセミナー

●講師／都 裕貴さん

犬を飼うにあたっては、犬が病気をしないよう配慮したり、ムダに吠えたり噛んだりして他人に迷惑をかけないようにしつけするなど、「上手な育て方」の知識が必要です。さらに最近では、室内飼育が85%といわれる中、室内での病気やケガを防ぐための環境を提供する「上手な住まい方」の知識も必要となっています。

育て方と住まい方の両軸から、ワンちゃんと幸せに暮らすコツを教えてくださいるのが、愛犬家住宅コーディネーターの都裕貴さん。

愛犬と暮らしている方はもちろん、これから愛犬を迎えようという方もぜひ参考にしてください。

愛犬は生涯のほとんどを「家の中」で過ごす

かつて、犬は鎖でつないで庭など家の外で飼うのが当たり前でしたよね。ところが、近年のペットフード協会の調べによると、庭で犬を飼っているのは全体の約5%。完全に家の中で飼っているのが約85%。昼間は庭で遊ばせて夕方になると家に入れる方も含めると約95%が家の中で犬と暮らしているという数字が出ています。ひと昔前と比べ、犬を飼う環境が大きく変化しているんです。

飼い主が仕事や買い物で外出中も、

ワンちゃんは家でお留守番。散歩以外で家の外に出ない。よく考えてみると、家族の中で最も長い時間、家の中で暮らしているのが、愛犬です。

私たち愛犬家住宅コーディネーターは、従来から必要とされてきた愛犬の上手な「育て方」に加え、長い時間を家の中で過ごすワンちゃんにとっての上手な「住まい方」をご提案させていただきます。ただく仕事をしています。

日本では子ども代わりの 小型犬が人気

【表1】の2016年犬種別登録頭数ランキングをご覧ください。12位



のゴールデン・レトリバーを除いて、すべて小型犬です。15年前のランキングには、5位と9位にラブラドル・レトリバーとゴールデン・レトリバーが入り、まだまだ大型犬の人氣がありました。30年程前には、シベリアンハスキーが大流行した時代もありました。

犬の入手ルートも昔とは変わってきました。1970年生まれの私が子どもの頃は、「もらってください」と書かれたダンボール箱に子犬が捨てられていることがよくありました。「飼いたい」と家に連れて帰ると、親が「庭につないでおきなさい」と許して

【表1】犬種別登録頭数ランキング

※JKCジャパンケネルクラブ調べ(2016)

1	プードル
2	チワワ
3	ダックスフンド
4	ポメラニアン
5	柴
6	ヨークシャーテリア
7	ミニチュア・シュナウザー
8	シー・ズー
9	マルチーズ
10	フレンチ・ブルドッグ
11	ウェルシュ・コーギー・ペンブローク
12	ゴールデン・レトリバー
13	パピヨン
14	パグ
15	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル

くれる。そうして中型犬や大型犬を庭で飼い始めたというお宅も多かったと思います。

ところが1980年代に入った頃から、ペットショップで犬を選んで購入するのが主流になり、そのころから小型犬を飼う人が増えてきました。

アメリカやイギリスでは、人気犬種ベスト10の8割が大型犬です。家が大きいのが理由ではなく、イギリス人やアメリカ人にとって犬の存在はパートナー。パートナーである以上、ある程度仕事ができただけではなく、体が大きいほうが役に立つわけです。日本人にとっての犬は「うちの子はね」と表現する人が多いように、子ども代わりです。そのため、愛玩犬が増えていくのではないかと思います。

犬種の特性を理解しよう

犬の祖先をたどっていくと、ほとんどが狼だといわれています。いろいろな能力を持つ狼を人間の手で交配し、人間にとって役立つ仕事をするさまざまな犬種へと進化させてきました。犬種ごとの特性の違いを理解することで、愛犬との暮らしや住まい方をかなり見直すことができます。犬種をいくつかに分類してご説明しましょう。

まず、直接狩猟犬という、自ら獲物を狩猟するためにつくられた犬種です。代表的なのは柴犬、秋田犬です。柴犬はうさぎ狩りのためにつくられました。牙が鋭く、「子犬なのに甘噛みされたら血が出た」という飼い主さんもいます。忠犬ハチ公で有名な秋田犬、柴犬ともに忠誠心が強く、日本人に人気の犬です。

次に、間接狩猟犬という、猟の補助をする犬種です。特性をいかして、さまざまな方法で猟を補助する間接狩猟犬を、グループ分けしてご紹介しましょう。そのひとつが、サイトハウンドという獲物を目で見つけるのが得意な犬たちです。普通の犬種は100メートル先がほとんど見えないといわれていますが、サイトハウンドはさらに遠くで動く獲物に気付くそうです。アフガンハウンドなどがここに含ま

れます。

セントハウンドという匂いで獲物を探すのが得意な犬もいます。スヌーピーのモデルになったビーグルやバゼットハウンドなど、耳がとっても長いのが特徴です。匂いをかぐとき頭を下げると耳が垂れて風を止めます。そうして匂いに集中できるように、耳を大きく改良したといわれています。

犬の特性に合わせた住まいを

ダックスフンドはアナグマ猟のために、ドイツ人がつくりだした犬です。アナグマのいる狭いトンネルに入れるよう、手足が短い犬が必要だったんですね。トンネルの中でアナグマが動く音がすると、臆病なダックスフンドは野太い声でしぶとく吠えます。びっくりしたアナグマが別の出口から逃げ、そこに罾が仕掛けられているのがアナグマ猟のしくみです。

ダックスフンドの飼い主さんは、「うちの犬は、しつけをしても吠えてうるさいの」とおっしゃいます。ただ、ムダに吠える犬はいません。音が聞こえない、つまり、家の中が静かなら吠えるきっかけが減ります。最近の住宅は防音設備もきちんとしているので、外からの音が入ってこず、吠える回数を減らせます。



レトリバーも間接狩猟犬の仲間です。レトリブというのは回収するという意味で、撃ち落とされた鳥を回収するためにつくられた犬です。くわえて戻ってくるときに鳥が傷つかないようによだれをたくさん出すようにつくられています。

ラブラドルの飼い主さんから「よだれの止め方を教えてほしい」と相談されたことがあります。そのようにつくられた犬ですから、あきらめてくださいという話です(笑)。カーペットがシミだらけになるのがイヤなら、床をタイルにするといいでしょう。掃除がラクなうえに、夏場はワンちゃんが寝そべってカラダを冷やすこともできます。

牧畜犬のコーギーには、散歩が必須

牧畜犬は、牛や羊、豚などを誘導す

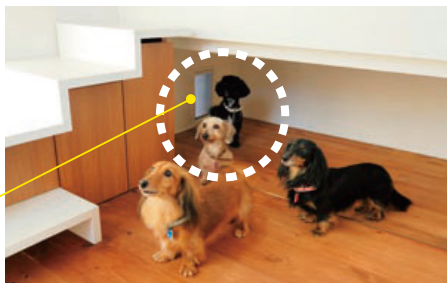


〈写真A〉愛犬家住宅①



←スキップフロアでリビングとダイニングを別けて

ダイニングの下部分をワンちゃんの「棲みか」として活用



←「棲みか」の壁にくぐり戸



それをくぐると...



〈写真B〉愛犬家住宅②



のためにつくられた犬です。牧畜犬のコーギーは、牛のかかとを噛んで大きな牛を動かします。蹴られると大げさをするので足は短く、しっぽも踏まれると危ないので短くなっています。
コーギーは一日中、牛を追いかけるために誕生した犬ですから、理想的には朝、夕方、夜にそれぞれ1時間の散歩が必要です。
護衛犬にはドーベルマン、運搬犬にはシベリアンハスキーなどがいます。トイプードルやチワワなどの愛玩

犬は、残念ながら得意技は持っていません。かわいらしさを強調するためにつくりだされた犬たちです。
愛犬家住宅の実例を紹介
愛犬と上手に暮らしている住まいの実例をご紹介します。〈写真A〉は、ミニチュアダックスフンドを飼っている家族のご自宅です。リビングからスキップフロアを上がるとダイニングにつながる間取りで、ダイニングの下部分にワンちゃんの居場所をつくっています。

所をつくっています。ダックスフンドはアナグマ猟のためにつくられた犬種ですから狭くて薄暗い場所が好き。この場所がお気に入りだそうです。奥の壁にはくぐり戸が設けてあり、屋外のバルコニーに設置したトイレに出られます。臭いが部屋に入らず、常に清潔を保つことができ飼い主さんもラクチンだそうです。
お留守番のときは、スライド式のゲートをとっと引き出すだけで、ケージ代わりに工夫がされています。

トイレを使うようにしつければサポートするのも、ケージの中でお留守番できるようにサポートするのも私達愛犬家住宅コーデイネーターの重要な役割といえます。
犬がいても和室をあきらめないで
愛犬がいると畳を傷めてしまうからと、和室をあきらめてしまう方がいらっしゃいます。〈写真B〉のように、畳の和室を小上がりにするのはどうでしょう。たいがいワンちゃんはこれくらいの高さは飛び乗ってしましますが、高さがあれば平面で畳との境界線を認識させるより、しつけがずっと簡単です。例えば上がってはいけない、上がらなければ褒めてもらえる、遊んでもらえると学習することで畳に上らないので畳を痛める機会を減らし、飛び降りた際のケガを予防することもできます。
小型犬の場合、ご自宅の洗面化粧台でシャンプーする方も増えてきました。でも、洗面化粧台のボウルは底が丸くてワンちゃんがうまく立ってず、踏ん張りがききません。フラットで深みのあるタイプを選ぶといいでしょう。
室内に潜む、意外な危険
愛犬を家の中で飼う場合は、室内で

の事故に注意が必要です。小さなお子さんと同様、異物誤飲には気をつけましょう。ワンちゃんが食べてはいけないものは、口に入らないよう片付けるのが基本です。

階段から転落する、キッチンでいたずらをしてやけどしてしまうなどの危険もあります。キッチンにはゲートを設置して動線を制限すると同時に、しつこくも大切です。

また、災害時にドッグフードを1〜2カ月分備蓄しておくこともおすすすめします。災害時は人命が優先され、ドッグフードの支給は遅れがちだからです。

室内飼いで増えてきた、犬の病気

室内飼いが増えたことに比例して、次の3つの病気が増加しています。

〈写真C〉



ひとつは、犬のストレスです。飼い主に噛みつく、あちこちでうんち、おしっこをする、それを食べてしまう。物を破壊するなどいろいろな問題行動を起こすようです。

一般的な住宅の天井高は2.4メートル前後といわれていますが、人間にとってはちょうどいい高さです。しかし、体高30センチほどの小型犬にすると8倍もの高さです。その広い空間では落ち着けず、心にストレスがたまっていくきます。ケージやクレート、犬小屋は閉じ込めてしまうようでかわいそうという方もいらっしゃるかもしれませんが、ワンちゃんの特性上、ケージなどがあるほうが家の中で静かにストレスなく暮らせる子も少なくありません。

ただ、ケージを置くと部屋が狭くなってしまふのが難点ですね。〈写真C〉のように収納の下を専用のスペースにしてはどうでしょう。

上手な住まい方、育て方で病気を予防

もうひとつは、アレルギーなどの皮膚病です。実は私が飼っている犬も皮膚病で、フードやシャンプーを変えても完治していません。ホコリやダニでもアレルギーがおこるので、空気清浄器も駆使しようと考えています。

3つめは関節の病気です。なかでも小型犬に多いのが、膝蓋骨脱臼というひざの皿がグラグラしてはずれしてしまう病気です。グレードIからIVまであり、IVになると下半身不随に至るケースもあるようです。原因の多くは先天性といわれています。大型犬に多いのが股関節形成不全です。股関節の発達が悪く、最後は立ち上がれなくなる場合も。さらに、いちばん怖いのが椎間板ヘルニアです。特にダックスフンドは4頭に1頭の割合で発症するともいわれています。

こういった関節疾患は、日ごろの住まい方、暮らし方、育て方を注意することで緩和できるので、諦める必要はありません。まず、イスや階段の昇り降りは今日から禁止です。降りるときに関節に負担がかかります。肥満にも気をつけましょう。身体をひねる動作もよくないので、リードで急引っ張るのはやめてください。

滑りにくい床を選ぶことも重要です。犬が滑りやすいフローリングには、「ペット用すべり止めコーティング剤」を塗るだけで滑らず歩きやすくなり、関節の疾患を予防します。

ただし、ノンスリップ性が上がると、人間の高齢者のひざに負担がかかる可能性があります。ワンちゃん目線か、人間目線か、判断できなければカー

ペットにするという選択もお考えください。

気軽に、愛犬家住宅コーディネーターに相談を

最後に、愛犬と暮らすための住まいの5か条をお伝えします。

- ① 床を選ぶ際には愛犬の歩きやすさを考えて
- ② 感電、誤飲事故が起きない工夫を
- ③ 階段の昇り降りをしないように
- ④ ケージ、愛犬グッズで部屋が狭くならない工夫
- ⑤ 人も愛犬もストレスなく、楽しく暮らせていますか？

人と愛犬、どちらかが我慢するのではなく、人もワンちゃんもストレスなく楽しく暮らしたいですね。そのためには、今一度、住まいの工夫をさまざまな観点から見直してみてもどうでしょうか。積水ハウスには、私と同じ愛犬家住宅コーディネーターが300名以上います。お気軽に、愛犬との暮らしについてご相談いただければと思います。